

# 心の原風景 —我が母校—

## 佐渡市立羽茂小学校

日本の近代の学校制度の始まりは明治5年8月に公布された「学制」です。その学制よりも3年前の明治2年3月に羽茂小学校の前身、「暇修痒舎（かしゅうしょうしゃ）」は、設立され、学びたい人に広く門戸を開きました。羽茂の人々の教育にかける熱意の原点がここにあります。「暇修」とは、庶民が余暇を利用して研修すること。「痒舎」とは、仮小屋を意味し、当時の学校を意味しています。現在の校庭には記念の石碑があり、建学の経緯が刻まれています。ここに集った先人達の思いを偲ぶことができます。

昭和37年、当時、最新デザインの内形校舎として親しまれた旧校舎が完成。その後、平成5年に現在の新校舎ができるまでの31



円形校舎（旧校舎）

年間、多くの児童を育んできました。

平成22年

4月、小村

小学校、大

滝小学校と

統合。旧羽

茂地区の小

学校が一つ

となり、新

生「羽茂小学校」が始動しました。

平成23年度、教育目標「かしこく

ゆたかにたくましく」のもと、「確かな学力」を目指し、「筋道立てて考え、

伝え合う子ども」の育成を校内研修

で行っています。また、「羽茂や佐渡

を愛する子ども」を育てる一環とし

て、名産「おけさ柿」の栽培を近隣の

農家の協力と指導を得て、総合的な

学習の時間で行っています。

さらに、クラブ活動では、地域の先

輩・指導者を招き、「能楽」や「太鼓」

等の学習を行っています。これらの

活動を通して、郷土「羽茂」の「よさ

」を体験し、伝統文化を引き継ぐ大切

さやここに生まれ育った「誇り」を保

護者・地域の方々と共に力を合わせ

て醸成しています。



現在の羽茂小学校

◆教育委員会学校教育課（両津支所内）  
☎23—4898

## ジオパーク、推進日記

⑧

### 第2回 日本ジオパーク 全国大会に参加しました！

北海道の洞爺湖有珠山ジオパークは、2009年に糸魚川（新潟県）、山陰海岸（鳥取県、兵庫県、京都府）とともに世界ジオパークに認定された地域です。平成23年9月29日から10月1日までの3日間、日本ジオパーク最大規模の大会である「第2回日本ジオパーク全国大会」がこの洞爺湖有珠山ジオパークで開催され、延べ2000人が参加しました。もちろん、佐渡市ジオパーク推進室も参加しました！今回は大会の様子を紹介します。

洞爺湖大会では、新たに認定された地域への認定証の授与をはじめ、各地の事例紹介や分科会、そして、講演会など内容の濃い大会でした。参加者は、分科会や見学会などで活発に意見を交換してい



今年認定された地域への認定証授与

ました。佐渡市にとっても参考になる意見や取り組み事例がたくさんあり、今後の推進事業に活かしていきたいと思います。

日本ジオパークに認定（今年9月）された群馬県・下仁田ジオパークの参加者は、「各地域によってジオパークの特色が全然違う。やはり、さまざまな地域の取組みを見ることが一番勉強になり、今後の参考になる！」と熱く語っていました。

来年は高知県・室戸ジオパークでの開催です。大会会場では、ジオパーク関係者はもちろん、一般の方も多く見られました。全国のジオパークを一度に知ることができ、貴重な大会です。興味のある方は、参加してみたいかがでしょうか？

◆教育委員会社会教育課 ジオパーク推進室（両津郷土博物館内）  
☎23—2100



各地のジオパークキャラクターがお出迎え